

# 1500億

## 豪華

# 新市庁舎

## は、いららない！



開発事業者 (UR都市再生機構)  
作成の完成予想図

突然市政を投げ出した中田前市長。財政を改善したなどと言っていますが、実は税金ムダ使いの置きみやげをたくさん残していきました。そのひとつが新庁舎建設計画。

現在、JR関内駅前にある庁舎の一部を取り壊して再開発し、あわせて「みなとみらい地区」に近い場所に41階建ての超高層ビルを建設。それぞれを部分的に市役所として使うという案が今年4月に出されています。

今より効率も悪く、**30年間で1506億円の支出が必要**というトンデモナイ中身です。

新しいビルの一部を民間業者に貸して賃料をもらい、負担を半分程度にするとしていますが、計算どおりにいく保証は全くありません。

今の庁舎は50億円もかけて耐震工事をしたばかり。庁舎建設より、子育て支援や高齢者福祉などに財源をまわすべきです。

## 林新市長 (右端) に新庁舎建設計画の凍結を要請する 井上さくら市議 (左端)

市長就任から間もない9月8日「無所属クラブ」の仲間とともに林市長と面談し、厳しい市民のくらしや財政の実状を訴え、新庁舎の建設をやめるように強く申し入れました。

市長は「他にやるべきことが多く、**庁舎建設の優先度は高くない**」と応じましたが、議会の中では推進の意見が多く、今後の注目が必要です。

